

一般質問

市政のここが

市民の安全・安心の暮らしのために！

島崎 清一
(自民クラブ)



【質問】 消防団員について、①定数、平均年齢、年代別の分布は、②報酬等の処遇改善は。

【答弁】 ①定数224名、平均年齢44・3歳。年代別では、10代0.5%、20代2%、30代27・5%、40代33%、50代37%、②総務省消防庁の通知の趣旨を勘案し、当市の消防委員会へ諮問し、その答申について検討の上、必要となる条例等の改正に伴う手続きを考えている。

【質問】 公園、公共施設の樹木の管理点検状況について、①ナラ枯れの発生状況は、②学校における管理状況は。

【答弁】 ①職員による日常の巡回、保全地域における巡視では、市内全域における公園や樹林地等でナラ枯れ発生が確認されている、②毎年度予算を確保し、優先度の高いところから樹木剪定を実施している。剪定以外にも、教育委員会で逐次対応し、樹木の管理に努めている。

若者の未来に責任を持つ市であれ！

沢田 孝康
(公明党)



【質問】 旧下里小学校跡地におけるフィルムコミッションの進捗状況について伺う。

【答弁】 これまで関係部署と調整を図ってきた。現在は、協定締結に向けて事業者と協議し、諸条件等の調整を図っているところである。

【要望】 ぜひとも実現できるよう、調整方お願いしたい。

【質問】 若年層が市政に関心を持ち、市政に対する思いを受け止める機会をつくり、その思いが形となっていく。それを受け止める機会を東久留米市少年議会としてつくってはどうか。

【答弁】 市政に対する若者の声を受け止めることは大切であると認識しており、ご紹介いただいた山形県遊佐町での取り組み事例について、早急にどのような取り組みであるか確認させていただく。

【要望】 さまざまな部署が関係していくので調整・検討してもらいたい。

次世代を担う子どもたちのために！

当麻 一哉
(自民クラブ)



【質問】 富田市長の重点取り組みである公園整備における、公園施設の老朽化や宅地開発等に伴う狭小な公園の増加、維持管理に伴う歳出の増加などの公園を取り巻く諸課題について、市の見解を伺う。

【答弁】 都市公園法の一部改正における今後の都市公園の在り方等を勘案しながら、ボール遊びのできる公園整備とともに、諸課題も含め、方向性について年度内を目途に整理したい。

【質問】 東久留米市風水害タイムラインについて、①本年7月に策定が完了したその内容は、②全戸配布などの対応はできないか。

【答弁】 ①市内での大規模な風水害等の発生を前提に、災害時の状況をあらかじめ想定し、防災行動とその実施主体を時系列で整理した防災行動計画である、②今後、市内各施設への配置や防災訓練などの際の配布を考えている。

笠松坂を通らない通学路の検討を

三浦 猛
(公明党)



【質問】 笠松坂の歩道の整備が完了するまでの間、別の通学路の設定を検討すべきではないか。6月に、歩道上の標識ポールに車が衝突する事故が起きてしまった。現状、ガードレール等の設置といった安全確保が取れない場所である。西側の住宅街を抜ける道や未整備の市道がある。これらのルートは、これまでに検討されたのか。

【答弁】 防犯面等の観点から、その迂回路については、現在、通学路としては設定していない。

【質問】 防犯上の見守りのほか、新たな市道整備費や街灯、防犯カメラも必要であり、一定の費用がかかるが、それでも笠松坂を通らない通学路も設定すべきである。関係機関との検討には、実施する前提を持って意見を伺う姿勢で進めるべきと考えるが。

【答弁】 学校や保護者のお考えを踏まえて検討していく。

北部・北西部の公共施設の審議を

北村 龍太
(日本共産党)



【質問】 北部地域の子育て支援施設の不足をはじめとした北部・北西部の公共施設の在り方は、前市政からの課題、長年の懸案事項であったことを踏まえれば、他の公共施設とは別枠に検討すべきと考えるが。

【答弁】 現状と課題についてヒアリングを行い、「仮称」公共施設の適正配置に関する考え方の中で検討したい。

【質問】 8月に策定された「東久留米市における脱炭素化・再生可能エネルギーの利用に向けた最適化の基本的考え方について」の背景と必要性の認識は。

【答弁】 国や都において再生可能エネルギーの主力電源化、脱炭素化に向けた施策強化が示され、市では、地球温暖化対策、減災レジリエンス、都市型施策としての事業構築・展開を焦点として整理し取りまとめた。

【要望】 世界的な気候危機に対し、自治体としての認識・行動をしてほしい。

デマンド型交通「くるぶ」改善を

永田 雅子
(日本共産党)



【質問】 公共交通に関するご相談やデマンド型交通に関するご要望をいただいている。市民ニーズ調査の実施を求めるが見解を伺う。

【答弁】 市民アンケート調査より、「くるぶ」の認知度が低いことや利用がしにくい、予約の受付時間の見直しなどのご意見をいただいた。これらを課題と捉え、今後、解決策等を考えていきたい。

【質問】 新型コロナウイルス感染症の自宅療養者への市独自の生活支援の実施について、市の見解を伺う。

【答弁】 現在、独自で自宅療養者への支援を行っている自治体の多くは、東京都からの食料支援が届かないところ、あるいはその補完の中で、という条件で支援を行っているところである。東京都の状況も確認しながら、市でどのような形でできるのかということを考えていきたい。

竹林公園のタケノコを有効活用

佐藤 一郎
(未来政策フォーラム)



【質問】 平成28年より竹林公園のタケノコを有効活用していると聞いている。現状の取り組み状況は。

【答弁】 市内の農業者にご協力いただきながら、本来、間引き・廃棄処分となる竹林公園内のタケノコの採取による歳出削減およびその売却益の一部を市に納入していただくことによる歳入確保を目指したものでしたが、実際にはタケノコ売却に伴う収益は、協力者がタケノコを出荷する際の梱包や燃料費等に充当したことから、これまでの間、歳出削減はもたらしたものの、売却益を蔵入した実績はない。

【質問】 親子で楽しくタケノコ掘りをするようなイベントを企画できないか。

【答弁】 平成30年度に、市内の障害者団体と連携し、試行的に障害者の方々にタケノコ掘りをご経験いただいた。協力者のご意向を確認しながら、有効活用について検討を進めていきたい。

民間委託の見直しを求める

青木 佑介
(市民自治フォーラム)



【質問】 小中学校の学校用務の委託契約について、①契約金額が当初の予算額に比べ、かなり低い数字になっている。金額内で受託事業者が修繕費や修理費を負担できるのか不安である。単純にコストだけで契約するという在り方は見直すべきでは、②委託契約の仕様書に記載の業務等について、受託事業者が履行できなかった例があったと耳にしているが、担当課として把握している内容は。

【答弁】 ①仕様書に明記されている事項の確実な履行を求めていく立場に変わりない。ただ、修繕や原材料費の実績の数字を情報提供してもよかったのでは、とは考えている、②鉄くずの回収について、進行状況の連絡がうまくいかず、回収車が到着しても受託者が引き渡し場所がないケースが見受けられた。こちらについては、業者に改善を要望した。

複合災害に備えよ！

中野 淳子
(市民とともに歩む会)



【質問】 複合災害の対策について、市としてどのような想定をしているのか。

【答弁】 市の地域防災計画に複合災害への対策の定めはないが、地震、風水害、危険物や大規模事故および富士山噴火、原子力災害について、それぞれ対応策を定めている。複合災害が発生した場合、それぞれの対応策を活用し、対策を行いたいと考えている。

【質問】 富士見テラス部建設に際しての市民参画の経緯は。

【答弁】 現地内部の壁面タイルには、当時の都市美をすめる会、東久留米美術連合会のほか各種団体名等が記されており、建設に当たり市民等が関わっていたことは推測できるが、具体的な経緯を確認できる資料が残っておらず、経緯を把握できない状況である。

【要望】 タイル画について、作成した市民の方から保存希望の意見が出ているので、残していただきたい。

市公式LINEアカウントの導入を

引間 太一
(ニューウェーブ)



【質問】 DX推進、スマートシティ実現のため、市公式LINEを導入していくべきと考えるが、市の見解を伺う。

【答弁】 東久留米市DX推進方針の策定に伴い、LINE公式アカウントの導入を挙げており、まずは、その導入に向けて検討等してまいりたい。

【質問】 東京都選考のアイデア部門で当市が2位で表彰された「Digital田（デジでん）甲子園」とは何か。また、表彰された「LINE等のSNSアプリを利用したオンライン市役所」とは。

【答弁】 「Digital田甲子園」は、地域の課題をデジタルの力で解決する取り組みを表彰する「デジタル田園都市国家構想」の実現に向けた国の取り組みである。表彰されたアイデアの概要は、市民の使い勝手を考え、既存のスマホアプリにAIチャットボット等を組み合わせ、「オンライン市役所総合案内」のように活用するというものである。